



宮古島市新中央公民館

基本計画

平成25年9月

宮古島市

目 次

第1章 基本計画	
1. 新しい公民館のコンセプト	・・・ 1
2. 新しい中央公民館の機能	・・・ 2
3. 施設の特記事項	・・・ 3
4. 防災機能・設備	・・・ 5
5. 駐車スペース	・・・ 6
6. アプローチ、植栽、バス停	・・・ 6
7. 事業推進体制	・・・ 6
第2章 新しい公民館の事業計画と運営	
1. 公民館の事業計画と運営	・・・ 8
第3章 資料編	
1. 市民アンケートによる公民館の現況と要望	・・・ 10
2. ワークショップにみる新しい公民館	・・・ 11

第1章 基本計画

1. 新しい公民館のコンセプト

公民館は草創期より「地域の茶の間」として、地域の人々が集う地域の活動拠点であり、また青年団や女性、地域のもつその時々¹の社会的課題解決に向けた学習の場であり、生活改善など地域社会の運動の中心であった。

本市における各地域の公民館や自治公民館は、現在でも「地域の茶の間」として地域の活動拠点であり、また各種講座を開催し、サークル活動の支援を行い、市民の教養の向上や生活文化の振興に寄与している。

新しい中央公民館は、宮古島市の各公民館の統括館として、市民が集いやすい「茶の間」的要素を持ち、市民の学習ニーズに応え、地域活動や地域づくりを支援する機能と設備を備えた、生涯学習施設の拠点施設とする。

新しい中央公民館施設の機能を集・学・楽・癒・育の5つの漢字で表し、公民館施設の考え方を示す。

集・学・楽・癒・育

(1) 気軽に**集**える公民館

市民の作品展示会やサークルの発表会など、公民館における学習の成果やサークル活動の成果が気軽に発表できるなど、市民が主体的に発信するイベントが開催しやすく、市民が気軽に集え、いつでも交流がある。また本市在住の外国人も参加し国際交流が図れる施設。

(2) 子どもから高齢者まで、生涯を通して**学**べる公民館

子どもから高齢者まで、健常者や障がい者などすべての市民が生涯を通して学べる学習機会や講座を多く提供できる。また、お年寄りや子ども、学生が年齢の枠を超えて異世代間で学びあえる、本市在住の外国人がお互いに学び合える、誰もが使いやすい施設。

(3) **楽**しく活動できる公民館

絵画や音楽、ダンスなどいつでも人やサークルで賑わっている。新しい情報であふれている。来ることが楽しくなる。いつでも来たくなる。学ぶ意欲がわいてくる。部屋にゆとりと設備・備品がそろった施設。

(4) 明日への活力を生む癒しと学びの空間のある公民館

塀がなくどこからでも敷地内へ入れる開放感のある外周。雨水と太陽光発電を利用した噴水や水遊びができる浅い池のある庭。島の熱帯魚、危険生物などが観察できる水槽。星や宇宙について学べるプラネタリウム、など島の環境学習と癒やし空間のある施設。

(5) 人、地域、まちを育てる公民館

他の公共施設や関係機関・各団体とのネットワークの中核となる施設。多様な学習の機会や情報提供。地域課題の発見・解決する地域のリーダー、ボランティア養成。サークルづくりや自主講座開催の助言、人的な支援など、人と地域とまちを育てる。

2. 新しい中央公民館の機能

(1) 新しい中央公民館は、宮古島市市民の生涯学習拠点施設として「公民館の設置及び望ましい規準」に示される機能を備えた施設とする。また災害時における緊急避難に対応できる設備を備える。

地域の学習拠点として、講座の開設、講習会の開催を行うとともに、必要に応じ学校、社会教育施設、社会教育団体、その他関係機関と連携し、多様な学習機会を提供する。

(2) インターネットや他の通信ネットワークなど情報機器等を活用した学習情報を提供する。

(3) 家庭教育に関する学習機会、学習情報の提供、相談・助言を行い、交流機会の提供により家庭教育への支援を行う。

(4) ボランティア養成のための研修会を開催し、奉仕活動・体験活動に関する学習機会、学習情報を提供する。

(5) 公民館事業へ青少年、高齢者、障がい者、乳幼児の保護者等の参加を促進し、また利用しやすいように必要な施設および設備を備える。

- (6) 宮古島市の各地区公民館、自治公民館を統括する中心施設として、各公民館を支援する機能・設備を備える。
- (7) 災害時に備えて非常用食料、医薬品、衛生材料、生活必需物資の備蓄倉庫を備える。太陽光発電設備、雨水の利用設備、自家発電設備を備える。

3. 施設の特記事項

- (1) 建物、施設は誰もが使いやすいユニバーサルデザインとする。沖縄県福祉のまちづくり条例に準拠したつくりとする。
- 子どもから高齢者まですべての市民に、様々な機会を通じて地域福祉に関する教育、学習の場を提供し、市民の福祉意識と地域の福祉力の向上を図る。県内外に子どもや障がい者、子育て、福祉にやさしい地域づくりを発信する施設とする。
- 車いす利用者が上階の非常口からも建物外へ円滑に移動できるようスロープを設ける。
- (2) 再生可能エネルギー発電設備、雨水利用設備、自家発電設備、備蓄倉庫の整備
- 宮古島市は、平成20年3月に島の生活を支えるかけがえのない地下水の保全、限りある資源とエネルギーの活用など6項目の目標を掲げ、環境モデル都市の指定を受けた。
- 現在、低炭素型エコアイランドの構築へ向け「クリーンエネルギーによる運輸部門のフリー化」、「さとうきび等による自給自足エネルギー供給」、「太陽と市民のエネルギーを活用したエコアクション」の行動計画を策定し、様々な取り組みを進めている。
- 本市は、台風や干ばつ等の自然災害の影響を受けやすく、最近では地震を想定した対策も必要とされる。
- 本施設はエコ・自然や災害等の認識を深めるための講座や学習を行い、また、災害時においては避難所となるため雨水の再利用や太陽光・風力など、資源、自然エネルギーを活かした設備を整備する。

(3) 青少年支援センター

青少年支援センターは不登校や引きこもり、非行など、悩みをもつ青少年や家族の相談や支援を行う。不登校児童生徒だけでなく中学卒業後や高校中退者で進学を希望する過卒者へも学習支援を行う。学習室や相談室、図書室や軽運動が行える機能が求められる。併設することにより読書や軽運動は図書館、公民館施設が利用できる。事務室、相談室、学習室の構成とする。また、プライバシーを保護するため、外階段を設けるなど、センターに直入室できるよう配慮する。

(4) エントランス

宮古島でみられる熱帯魚や危険生物観察用水槽の設置。人力発電機（自転車発電機、ルームランナー発電機、等）を設置。展示スペースや喫茶コーナーの設置。コインロッカー（戻りコイン式）設置。

(5) 大ホール

多目的に使用する。床は平場。移動式観覧席 200 席。移動式座席 100 席。観覧席のみの使用時は舞台近くまで移動できる。その場合最上階の背面については安全面に十分配慮した造りとする。床は移動式観覧席の重さに十分耐えられるようにセルフレベルリング工法で堅い材質のフローリング仕上げとする。ホールに窓等は造らない（演出効果）。

舞台は車いすでも容易に行き来できる（車いす用昇降機の設置やスロープなど）つくりとする。スクリーンの位置は奥か舞台前か十分検討する。

音響操作機器の設置場所は舞台下手か舞台向かい側か十分検討する。

(6) 研修室

パソコン講習会や語学学習講座用にノート型パソコンを備品として備える。無線LANのインターネット環境を整備する。eラーニングを利用した外国語やその他の学習ができる。パソコン機器類 50 台以上が使用できるよう電源コンセントは十分な数設置する。

(7) スタジオ

防音室。各編集機器も設置し、マルチメディア工房の機能を持つ。防音は壁面だけでなく天井・床についても配慮する。

(8) リハーサル室、

防音室。フローリングで、壁面鏡、ダンス練習用バーを設置する。防音は壁面だけでなく天井・床についても配慮する。

- (9) 調理室の調理台は IH 式調理器の付いた実習台とする。車椅子でも使える昇降式の調理台を設置する。
- (10) トイレは舞台裏、施設中央あたりに設置する。障害者用トイレはオストメイト対応とする。男女個室の半数以上をベビーシート付き、車いす対応とする。また、個室には鞆等がおける棚、フックを設ける。
- (11) 障がい者用駐車場・一般駐車場から玄関までは、雨に濡れずに移動できるようなつくりとする。
- (12) 主な設備・備品
ホワイトボード、プロジェクター、スクリーン、BIG PAD、ピアノ、ドラムセット、音響設備（マイク、アンプなど）、会議用（椅子、テーブル）、大型テレビ、碁盤、将棋盤、椅子で使用できる碁盤用テーブル、イーゼル、エントランス（喫茶コーナー）の椅子、テーブル、ダンスや舞踊練習用用姿見（吊り下げ式のリフレクスマirror or フィルムミラー）、ろくろ、展示用可動式フック（廊下等にも設置）、災害対応型自動販売機、冷水器、防犯カメラ、複合機（利用者用）

4. 防災機能・設備

災害時に避難者の安全確保のため十分な耐震性のある建物とする。設備として、備蓄倉庫、太陽光発電設備、自家発電機設備、雨水貯水槽や飲料水用貯水槽を備える。太陽光発電、雨水貯水槽、飲料水貯水槽などの設備は日常的に使用するが災害時にも機能する設備とする。

災害時における各スペースの機能・役割は、大ホールや各集会室等は避難者の宿泊施設、IH 調理器を備えた調理実習室は炊き出し、無線 LAN 設備のある講座室は通信・連絡室、として機能する。

5. 駐車スペース

図書館計画における駐車スペースは、サービス対象人口やサービス目標から年間利用者数やピーク時の利用者数を想定し、必要な駐車場を100台、駐輪場45台として、面積2,000㎡を計画している。

公民館の場合、イベントが開催される時が最大利用者数である。敷地等の条件に鑑み、施設全体の駐車場については、少なくとも200台の駐車スペースを目処に、緑地スペースを考慮しながら確定する。

障がい者用駐車場は、沖縄県福祉のまちづくり規則に定める台数以上の駐車場を設ける

6. アプローチ、植栽、バス停

図書館建築計画におけるベンチ、東屋の設置、木陰や緑に囲まれた読書空間に加えて、雨水を利用した親水空間（安全に遊べる浅い池、ソーラー噴水など）、フリーマーケットが開ける空間をつくる。敷地内に路線バスのバス停を設置し、子どもたちや高齢者など併設施設利用者の安全性・利便性の向上を図る。緑地内には太陽光や風力によるハイブリット型街灯を設置する。

7. 事業推進体制

施設の建設において設計者の選定は重要である。特に公民館は、日常的に市民が集い、学習やサークル活動を行う施設であることから、事業推進において多くの関係者が関わることを望ましい。そのため、市民代表やサークル代表者、有識者など、多くの市民の意見収集やワークショップの開催などを行いながら進める。

(1) 設計者の選定

設計者の選定はコンペによる提案方式（プロポーザル方式）で行い、評価表による点数評価とする。

選定委員は、障がい者団体代表を含めた有識者および市長の任命する市職員で構成する。

(2) ホール・舞台、音楽練習室、プラネタリウム室の計画策定
サークル代表者、有識者によるワークショップによる意見収集

(3) 備品購入計画
サークルや利用者等の意見収集

第2章 新しい公民館の事業計画と運営

1. 公民館の事業計画と運営

下記に示すテーマと事業について、関係機関等と連携し利活用を図る。

(1) テーマと事業

① 楽しく学び、育て合う ～生涯学習の拠点として～

くらしに役立つ各種講座・講演会の開催や、青少年の健全育成・家庭教育の支援となる各種事業、また環境問題への関心を高め市民のエコ活動につながる事業など、市民の生活に密着した事業、地域課題の解決のための事業を行う。

【例】

○エコ園芸講座 ○エコクリーニング講座 ○高齢者のためのパソコン講座 ○夏休み絵画教室 ○リサイクル小物作り講座 ○音楽講座 ○夏休み勉強会 等

② みんなで集い、助け合う～市民の集いの場・癒やしの場として～

子どもから高齢者まで幅広い年齢層の異世代交流や、高齢者、障がい者、島外・海外との交流事業等、市民の交流の場としての利活用を図る。更には子育て支援事業、軽運動や食育を通し市民の健康増進意欲の向上を図る事業など、心と体の健康・福祉につながる事業を行う。

【例】

○高齢者から学ぶみゃーくふつ教室 ○親子レクリエーション会 ○フィットネス発電教室 ○ネイチャーゲーム ○外国語講座 ○おじいおばあの昔あそび教室 ○防災講座 ○障がい者のための防災講座 ○障がい者支援ボランティア育成講座 等

③ 人材を育み、広げ合う～市民活動の支援・情報発信の場として～

市民が自主的に行うサークル活動やボランティア活動の支援、更には各地区公民館、自治公民館の中心施設として、地域で活動するリーダー育成のための研修会等を開催する。また広報やホームページを通し、市民への情報提供を行う。

【例】

- 地域リーダー養成講座 ○レクリエーション指導者講座
○公民館報、ホームページの開設 ○資格・職業講座 等

(2) 施設利用の在り方

公民館の利用申し込みをインターネットでも受け付けることができるようにし、利用・受付状況も公民館ホームページや館内のモニターで確認できるようにする。平日料金や休日料金および学生割引など、より多くの市民が利用しやすいよう、生活スタイルの違いによる料金設定など規則の見直しを図る。

(3) 市民参画

公民館利用者との意見交換会、ワークショップ等を開催し、市民が公民館運営に参画し、公民館活動を支援・援助できるような環境作りを目指す。

(4) 職員計画

宮古島市の生涯学習の拠点となる公民館の運営には、市民の多様なニーズを把握し、幅広い社会教育に関する知識を有する職員の存在が不可欠である。このことから、社会教育主事や、音響・照明など操作技術を持つ職員等、専門職員の配置と計画的な職員研修等による人材育成に努める。

第3章 資料編

1. 市民アンケートによる公民館の現況と要望

中央公民館にアンケート用紙を設置し、普段公民館を利用している利用者を対象にアンケート調査を行った。また市ホームページにもアンケートを掲載し、一般市民対象にアンケート調査をおこなった。回収件数は78件。
(集計結果は添付資料1)

「4. あなたの公民館利用について教えてください。」の質問では、1位が「サークルで利用」59.5%、次に「イベントがあるとき」29.3%、「公民館講座」11.2%となっており、サークルでの利用が多い。

「5. 公民館でよく利用する部屋はどこですか」の質問では、1位大ホール」38.6%、「和室」22.8%、あと研修室、講座室と続く。サークル利用が多い事と併せて考えると、大ホールと和室を利用するサークルが多いと思われる。しかし、中央公民館の部屋別利用状況によると研修室の利用回数が一番多い。

「6. 公民館の施設に満足していますか。」との問いには、大変満足 20.5% まあまあ満足 47.4% 少し不満 19.2% 大変不満 5.1% 特にない 7.7%となっており、7割弱の利用者は満足と答えており、大きな不満はみられない。

「7. 不満不便に思っていることを書いてください」では、設備や備品にコインロッカー、DVD、プロジェクターが欲しい、と答えている。部屋については、控え室が使いにくい、研修室が狭い、調理室が狭い、和室は照明が暗い、などの回答がある。

「8. 階段、トイレ、エレベータなど施設全般について意見を書いてください」では、洋式トイレの要望や女性に使いやすくして欲しい等がある。また、入口までの傾斜がきつい、駐車場が狭いなどがある。

7と8の間に共通して書かれているのに、クーラーの使用料が高い、との意見がある。

「9. 公民館を建て替える場合、現在の施設以外にどのような施設があればいいと思いますか」については、インターネット室、音楽練習室・スタジオ、サークルの発表会用に小規模のホール、学習室、カフェスペース、子供のプレイルーム、体育室、海洋生物とふれあえるプール、可動式座席

のホール、など多様な要望がある。

「10. どのような設備・備品があったらいいと思いますか」については、練習用ピアノ・ドラム、プロジェクター、印刷機やコイン式コピー機、パソコン、姿見鏡などがある。

「11. 新・公民館の建設に当たり、要望・意見等」としては、バリアフリー、ゆったりとしたスペース、場所が分かりやすい看板設置、駐車場を広く明るく、憩いの空間、など利用しやすさに関する意見が多い。

2. ワークショップにみる新しい公民館

公民館利用者への呼びかけ、市のホームページによる公募を通してワークショップ参加者を募り開催した。参加者30人。高校生1グループと一般4グループの5グループ分けて行った。

「新しい中央公民館はこんな施設に」をテーマに、施設や設備、講座、周辺環境などについて意見やアイデアをだしてもらった。

大ホールについては、

- ・定数を300から500人とする可動式観覧席のホール
- ・反響板設置、音響や照明設備の充実

- ・観賞時と発表時を分けて使える
- ・控え室、楽屋、練習室をゆとりをもって広く
- ・舞台袖、舞台は広く、あまり高くしない
- ・荷物の搬入口を設ける

などがある。

新しい施設としては、

- ・シアタールーム（20～30名）
- ・マルチメディア室 パソコン室、ライブラリー
- ・サークル室、サークルの備品倉庫
- ・ギャラリー、展示スペース（書道、絵画）
- ・喫茶室、カフェ、売店
- ・ダンス、舞踊室（フローリング、鏡張り）
- ・録音室、スタジオ、音楽室（個人から15名程度で利用できる）
- ・学習室、工芸室、いろいろな広さの研修室

- ・授乳室、育児室、キッズルーム
 - ・軽運動室、フィットネスルーム
 - ・宿泊施設
 - ・プラネタリウム
- などの要望がある。
トイレについては洋式や子ども用、個室を多く、など。

設備については、

- ・高品質の音響機器、舞台照明設備
- ・持ち運びのできる放送機器
- ・コインロッカー（お金が戻るタイプ）
- ・天体望遠鏡
- ・車いす、冷水器、公衆電話
- ・コピー機、パソコン、DVD、プロジェクター
- ・インターネット、無線 LAN
- ・楽器（ピアノ、ドラム）、譜面台、楽器スタンド、楽譜、昔のレコード
- ・太陽光発電

講座・セミナーについて

- ・みゃーくふつ講座、郷土の歴史講座、宮古の文化（御嶽、史跡）
- ・民芸講座（世代間交流のできる）、昔遊び講座（昔の手作りおもちゃ）
- ・高校生（学生）と地域の方々が交流できる講座
- ・職業講座

- ・園芸、文化（三線、お茶、料理、ヨガ、英会話）を継続して
- ・音楽、ダンス、勉強（指導者が常駐）

周辺環境として

- ・公園、緑と花いっぱい、植物が多い、
- ・ベンチ、東屋
- ・屋外アート空間
- ・広場（噴水がある。バスケットコートがある。観光スポットになる。）
- ・駐車場（広い。入り口までアーケードがある。安全に入り口まで行ける）

その他に、公民館キャラクターをつくる。屋上の有効利用（展望台）。公民館利用時の光熱費の軽減（エアロバイク型発電、踏んで発電するタイルなどを設置し利用者に使ってもらい蓄電）、高校放送部のイベント時の活用、など。

宮古島市新中央公民館基本計画

平成25年9月

宮古島市役所総務部中央図書館等建設準備室

〒906-8501 沖縄県宮古島市平良字西里186

TEL (0980) 72-3751 (代表)